

海がなくてもできることはいっぱい 所沢市民でもできること

まずは、基本のおさらい。ごみのポイ捨てをしないことはもちろん、正しくごみを分別・処理することが重要です。

たとえば、容器包装プラスチックごみは、汚れたままだと資源化できません。残飯などは必ず取り除き、水をか

けたり、布などで拭き取ったり、汚れを落としてから捨ててください。

正しい分別と処理が習慣化できれば、誰でも簡単に日々の行動で海を守ることができるのです。

「それだけ? もっとできることはないの?」と思ったあなたには、次のステップをご紹介します。

使い捨てのプラスチックをやめる

買い物時についついもらってしまいがちなレジ袋ですが、そのまま使い捨てたり、使わないまま貯まってしまうたりしていませんか?

日本人は、年間305億枚、一人当たり年間300枚のレジ袋を使っているといわれています。しかも、レジ袋の製造から処理までに必要なエネルギー(1年分)は、原油換算で25mプール約1,200個分! マイバッグを使えば、必要のないレジ袋の削減だけでなく、資源の節約にもつながります。普段の

お買い物だけでなく、とことこ市や市民フェスティバルなどのイベントにも、ぜひマイバッグをお持ちください。

レジ袋以外にも、ペットボトルやストローなど、身の回りには使い捨てになっているプラスチック製品がたくさんあります。生活の中で、「このプラスチック製品、使わなくても大丈夫かも?」と自分に問いかけてみてください。必要のないプラスチック製品の多さに驚くはずですよ。

清掃活動に参加する

海に流れ着く前にストップ! 身近な川をきれいに維持・保全するためには、定期的な清掃が大切です。市内には川の清掃活動を行う団体が多数あり、いつでも仲間を募集しています。「参加してみたい!」と思った方は、市(Q川)の維持・保全をご覧ください。



5月30日(ごみゼロの日)から6月8日(世界海洋デー)までは、「海ご

みゼロウィーク」&「埼玉県プラごみゼロウィーク」です。未来の子どもたちに美しい川や海を残せるよう、所沢市は「マチごとプラスチックごみ削減」に取り組むことを宣言しています。海がなくても所沢市民にできることはたくさんあります。暮らしの中で、使い捨てプラスチックをやめる、清掃活動に参加してみる、できることから始めてみませんか?

STEP1

基本のおさらい

- ▷ポイ捨て厳禁
- ▷正しいごみの分別・処理

所沢市の容器包装プラスチック

商品が入っていた容器や包装で、プラマークのあるもの。



身近な容器包装プラスチック

- ▷レジ袋
- ▷パンやお菓子の袋
- ▷ペットボトルのラベル
- ▷食品のトレーやチューブなど



STEP2

使い捨てプラをやめる

- ▷マイバッグを使って、レジ袋を辞退
- ▷マイボトルを持ち歩く など



清掃活動に参加する

- ▷川の清掃に参加
- ▷毎年5月と11月に行う「環境美化の日」など、地域の清掃に参加

◎川以外の場所で出たごみが風などで川に飛ばされることも。地域の清掃も大切です。各地域の清掃活動団体は、市(Qアダプト・プログラム)をご覧ください。



こうすることで、**所沢**から出る**海のプラごみ**を**ストップ!**

毎年 179 本は飲んでいるペットボトル飲料

清涼飲料用のペットボトルだけでも、国内出荷本数は227億本(2017年度)。一人当たり年間179本飲む計算です。マイボトルを持ち歩くことで、使い捨てペットボトルを減らせます。



餌と間違っ
てプラごみを
食べちゃっ
て苦しいよ...

みんなの行動が
きれいな海を守るんだ
地球で暮らすみんなのために、
できることを考えてみてね

カメさんコラム

子どもたちにも海のプラごみのことを知ってもらうために、市内保育園でもボクが登場する紙芝居を読んでもらっているよ。

